



美しい山・川・海
人が躍動する 交流と共生のまち

今月号の主な内容

- ・山の観光振興 … P. 2～ 3
- ・平成 19 年度決算まとまる … P. 4～ 7
- ・第 20 回香住潮風マラソン大会 … P. 8
 こんにちは町長です
- ・第 11 回村岡ダブルフルウルトラランニング … P. 9
- ・行政トピックス … P.10～ 13
- ・まちの出来事 … P.14～ 15
- ・キラリ香美町 … P.16
 (別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)

ふるさと

香美



【写真】 過去最多 1,642 人が香住海岸を駆け抜ける
第 20 回香住潮風マラソン大会 (香住区)

9月27日、第20回を迎えた香住潮風マラソン大会が開催され、過去最多となる1,642人(エントリー1,737人)のランナーが参加、1km、3km、5km、10kmの各部門で健脚を競いました。
(写真は10kmの部、947人が一斉にスタート)

10

香美町広報
平成20年10月号
(第43号)

山の四季型観光を目指して



▲兵庫県観光百選第1位 瀬川平の山並み

山と川と海という多彩な自然を有する香美町では、観光対策を柱として、ほかの産業と連携を図り、産業全般にわたり相乗効果が高まるような取り組みを推進することに、合併当初から力を入れてきました。7月号で海を活かした観光振興について紹介しましたが、今月号では、山の四季型観光対策について紹介します。

スキー中心から四季型観光へ

村岡区・小代区は、4つのスキー場を中心とした関西におけるウィンタースポーツの中心地であり、本町としても冬の観光客の増加を図ることは、最も重要な課題です。

しかしながら、昨今の雪不足やレジャーの多様化などにより、スキーの入り込み客は減少傾向にあります。そのようななか、山の観光においては、これまでのスキー中心の冬季型観光はもちろんですが、四季を通じて交流人が訪れる滞在型・宿泊型観光を推進していく必要があります。

「高原や滝、溪谷など自然の魅力を活かす」

村岡区・小代区は、氷ノ山後山那岐山国定公園に連なる高原地帯とその地形が作り出す滝や溪谷など豊かな

な資源に恵まれています。その自然の良さを多くの人々に知っていただくと同時に四季を通じて訪れ、滞在していただくための新たな方策が求められています。

そこで、町としても、これまでの日帰り型イベントに加え、高原や滝、溪谷の魅力を存分に満喫していただくよう、滞在型・宿泊型の観光への取り組みを支援していきます。

- ◇高原のイベント
・但馬高原植物園
- ・「涼風まつり」、「紅葉まつり」
- ・「ハチ北高原」
- ・「ザゼンソウまつり」、「ホテル鑑賞ツアー（宿泊型）」、「わんぱく体験（宿泊型）」
- ・南部健康高原
- ◇滝、溪谷
「全国しゃくなげ公園まつり」
「猿尾滝祭り」、「小代溪谷まつり」

「豊かな食材を活かす」

但馬牛のふるさとを広くPRするとともに、本物の但馬牛肉を食べてもらおうほか、地元の多くの山の食材を一体的にアピールするため、村岡区・小代区の関係団体が一体となつて、11月1日、2日に「但馬牛食まつり」を開催します。このまつりは、「香美町山の祭典」と位置づけ、今後定着させていきます。

すでに、ハチ北観光協会が昨シーズンから但馬牛を使用した「ずきしゃぶ鍋（すき焼きとしゃぶしゃぶを同時に楽しめる鍋）の創作や、村岡特産物開発振興会や道の駅村岡ファームガーデンで但馬牛の新商品開発などが、熱心に取り組まれています。

「但馬牛食まつり」をきっかけに、村岡区・小代区の旅館や民宿などが、但馬牛を中心とする豊かな食材を利用した名物料理の創作に取り組んでいけるよう、町としての支援をしていきます。

香美町の山の食材は、但馬牛を筆頭に、特色ある多くのものがあります。小代区では合併前からスッポンやチヨウザメの養殖に加え、キャビ

アの生産にも取り組んでいます。

また、村岡区の3つの道の駅では、鮎、川ガニなどを提供することともに、収穫祭として、その季節に地元で収穫された野菜などを提供しています。このような地元の食材を提供することは、産地表示など顔の見える食材として、観光客の皆さんにとって、大きな魅力となっていることから、今後さらに充実していくよう努めていきます。

「四季を通じた交流・体験」

●スキー対策

近年は、暖冬による雪不足の影響や、スキー人口の減少、道路事情の変化に伴い、町内のスキー場への入

り込み客数が減少しています。

そのようななか、各スキー場がアイデアを出し、さまざまなイベントを展開しています。スキーヤーなどの増加に向け、町としてもスキー場でのイベントなどのPRに一層力を入れていきます。

●スポーツなどを生かした観光振興

村岡区・小代区の豊かな自然は冬だけに限定せず、四季を通じた観光施策を展開していくことが重要です。

近年、「健康・エコ・自然・癒し」といった要素が、団塊の世代の大きな志向となっています。このことに着目し、兎野高原野外教育センターと連携した高原ハイキングなどを楽しむ滞在型の観光コースの設定や、宿泊を伴うスポーツイベントとして、

「みかた残酷マラソン全国大会」「村岡ダブルフルウルトラランニング」に加え、小代区に整備したグラウンドゴルフ場での大会開催をすすめ、観光交流人口の増加に向けた積極的な取り組みをしていくこととしています。

●都市住民との交流

都市住民との観光交流として、従来からの門真市や尼崎市との交流に加え、吹田市との交流を進めるなかで、11月にはフレンドシップ交流の調印を予定しています。この吹田市を含め、三つの友好関係にある都市住民に香美町ファンになっていただくためのきっかけづくりとして、日帰りの「魅力体験バスツアー」を年3回実施しています。このツアーを

通じ、香美町の魅力に直接触れていただくことで、香美町ファンの増加に努めています。今後は宿泊型のツアーも取り入れていくこととしています。

●自然学校の積極的な誘致

今年度、国の総務省、文部科学省、農林水産省の三省連携事業である「子ども農山漁村交流プロジェクト」のモデル地域として、香美町が、全国50自治体の一つに指定されました。今後、全国の公立小学校の自然学校を香美町へ受け入れる可能性が広がり、山から海までの体験型・滞在型観光にも大きな弾みがつくものと考えています。



▲放牧される但馬牛（おじろスキー場）



▲大勢の観光客が立ち寄る道の駅「村岡ファームガーデン」



▲全国各地から挑戦者が集まるみかた残酷マラソン全国大会



▲小代健康公園で開催される各種グラウンドゴルフ大会に、町内外から多くの人々が集います。



▲香美町の魅力を満喫してもらう魅力体験バスツアー（猿尾滝）

平成19年度決算まとめ 総額224億4659万円のまちづくり

平成19年度一般会計及び11特別会計歳入歳出決算（公立香住総合病院と上水道の企業会計を除く）の認定について、9月定例議会に提案し承認されました。一般会計と11特別会計を合わせた決算額は、歳入総額が226億6744万円、歳出総額が224億4659万円。歳入から歳出を引いた額は、2億2085万円の黒字となりました。

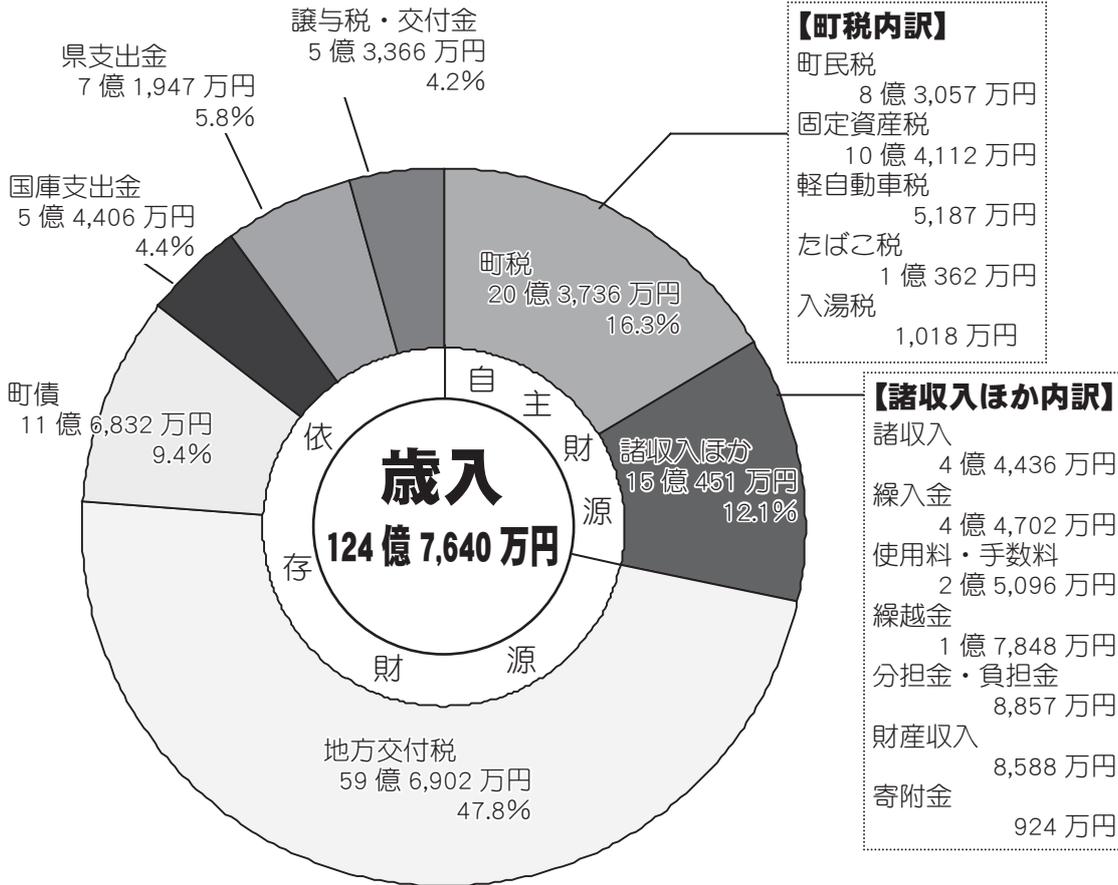
一般会計

歳入総額124億7640万円（対前年度24億948万円減）、歳出総額120億6766万円（対前年度24億9973万円減）で、4億874万円の黒字でした。これから平成20年度に繰り越す金額2238万円を差し引いた実質の黒字額は、3億8636万円となります。

歳入

歳入総額のうち、町税などの自主財源である収入は35億4187万円で、全体の28.4%。残りの89億3453万円、71.6%は依存財源で、国・県からの交付金、補助金や借入金などです。自主財源のうち歳入全体の16.3%を占めるのが、町民の皆さんに納めていただく町税で、20億3736万円となっています。

一方、依存財源で最も多いのは、全体の47.8%を占める地方交付税で、59億6902万円です。



町民一人当たりの税負担額（※入湯税を除く）

93,928円

| | |
|---|--|
| 町民税  38,226円 | 固定資産税  47,916円 |
| 軽自動車税  2,387円 | たばこ税  4,769円 |

※町民1人当たりの計算は、平成20年3月末日現在の人口21,728人を基にしています。

●町税

町民税や固定資産税など、町民の皆さんに納めていただいた税金です。

●地方交付税

町の財政状況に応じて国から交付されたお金です。

●町債

特定の事業を行うために国などから借り入れたお金です。

●国庫支出金

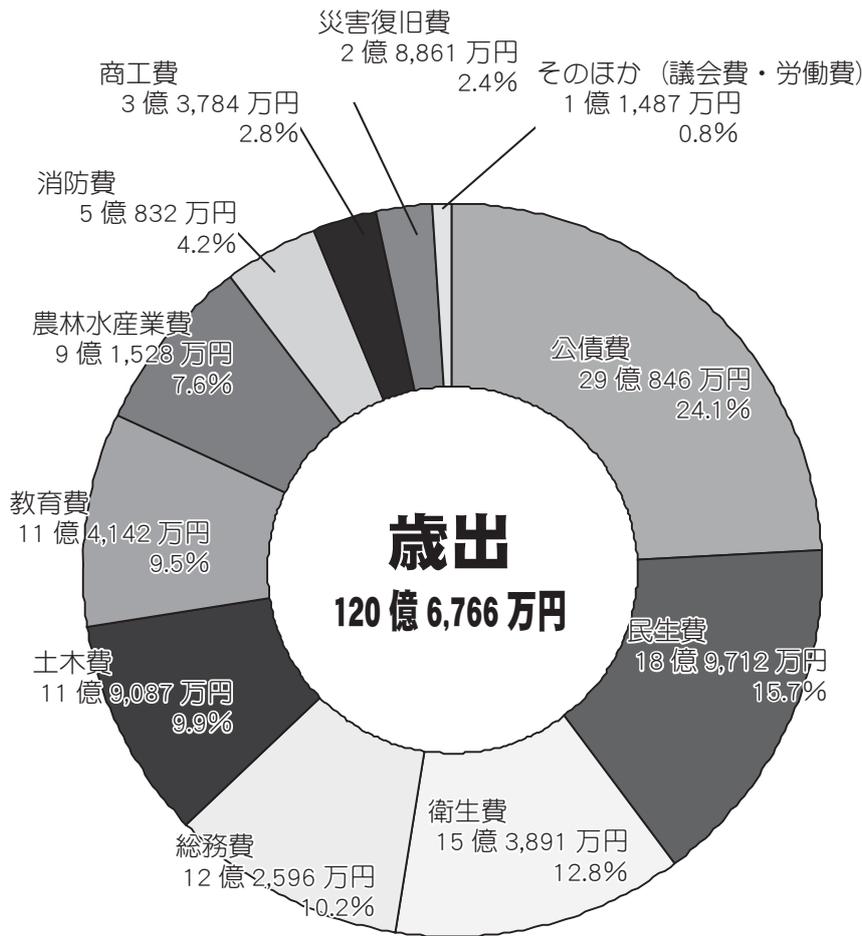
特定の事業を行うために国から交付された負担金、補助金などのお金です。

●県支出金

特定の事業を行うために、県から交付された負担金、補助金などのお金です。

歳出

歳出総額は、庁舎建設の終了や行財政改革の推進などにより、前年度と比べ24億9,973万円（17.2%）の減となりました。歳出を目的別にみると、最も多いのが過去に借り入れた借金の返済金である公債費で29億8,466万円、歳出全体の24.1%を占めています。2番目に多いのが、民生費で18億9,712万円、15.7%、次いで衛生費15億3,891万円、総務費12億2,596万円と続きます。



◆町民一人当たりに使われたお金◆

555,397円

| | | |
|--|---|---|
| 公債費 国などから借り入れたお金（町債）の返済などに使ったお金です。  133,858円 | 民生費 社会福祉や医療助成など、安定した社会生活を保障するために使ったお金です。  87,312円 | 衛生費 健康診断や各種診断、ごみ処理など、健康で衛生的な生活環境を保つために使ったお金です。  70,826円 |
| 総務費 新しいまちづくりや戸籍、徴税、選挙、監査事務など町の総括的な事務に使ったお金です。  56,423円 | 土木費 道路、河川、町営住宅などの整備や維持管理に使ったお金です。  54,808円 | 教育費 幼稚園や小中学校、社会教育など、教育各般に使ったお金です。  52,532円 |
| 農林水産業費 農業、林業、畜産業、水産業の振興に使ったお金です。  42,124円 | 消防費 消防や救急活動に使ったお金です。  23,395円 | 商工費 観光の振興や商工業の振興などに使ったお金です。  15,549円 |
| 災害復旧費 災害によって道路や農地、山林などに生じた被害を復旧するために使ったお金です。  13,283円 | その他 (議会費・労働費) 議会の運営、労働対策などに使ったお金です。  5,287円 | ※町民1人当たりの計算は、平成20年3月末日現在の人口21,728人を基にしています。 |

特別会計

●国民健康保険事業

平成19年度の被保険者一人当たりの医療給付費は、23万4884円（前年度比12・0%増）となっています。今後も被保険者の健康の保持増進と適正な医療の給付を図ります。

●老人保健事業

平成19年度の一人当たり老人医療給付費は、67万8836円（前年度比1・7%増）で、今後も高齢者の健康の保持と適切な医療の確保を図ります。

●介護保険事業

平成19年度末の第1号被保険者数（65歳以上）は6778人、認定者数は1007人、認定率は前年度と同じ14・9%でした。

平成18年度に、本町および近隣市町において特別養護老人ホームの整備が進み、施設サービスなどの利用者が増加したため、平成19年度の介護給付費は16億2478万円（前年度比7・0%増）となりました。

●簡易水道事業

上水道事業を除く簡易水道事業は26カ所あり、水道施設の維持管理や安心・安全な飲用水の安定供給に努めました。

●公共下水道事業

公共下水道事業で香住処理区、特定

環境保全公共下水道事業で射添処理区と小代北処理区の整備や、供用開始後の水洗化促進にも取り組みました。

●財産区

□佐津財産区、長井財産区の管理運営を行いました。

●香住海岸土地造成事業

しおかぜ香苑の緩衝緑地整備を行いました。

●町立地方卸売市場事業

水揚高は47t（対前年度169t減）、金額にして1682万円（対前年度2044万円減）で、施設使用料は201万円（対前年度115万円減）となりました。

●国民宿舎事業

平成19年度の「ファミリーイン金子浦」の宿泊客数は、部屋の改築工事などにより、7686人（前年度比14・4%減）でした。また、結婚式は10組（前年度比4組増）の利用がありました。

●矢田川憩いの村事業

平成19年度の「かすみ・矢田川温泉」の利用者数は、8万4415人（前年度比7・7%減）でした。

●宅地造成事業（村岡区）

平成12年12月から20区画を分譲開始し、平成19年度末現在で、残り1区画となりました。

平成19年度特別会計別決算内訳（病院事業・上水道を除く）【単位：千円】

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引額 |
|-------------------|------------|------------|-----------|
| 国民健康保険事業 | 2,867,436 | 3,054,279 | △ 186,843 |
| 事業勘定 | 2,464,268 | 2,459,947 | 4,321 |
| 佐津診療施設勘定 | 40,782 | 62,029 | △ 21,247 |
| 兎塚・川会・原診療施設勘定 | 33,737 | 194,355 | △ 160,618 |
| 小代診療施設勘定 | 220,199 | 234,740 | △ 14,541 |
| 兎塚・川会歯科診療施設勘定 | 108,450 | 103,208 | 5,242 |
| 老人保健事業 | 2,586,264 | 2,602,713 | △ 16,449 |
| 介護保険事業 | 1,862,937 | 1,860,047 | 2,890 |
| 事業勘定 | 1,835,331 | 1,834,820 | 511 |
| 介護サービス事業勘定 | 27,606 | 25,227 | 2,379 |
| 簡易水道事業 | 658,386 | 656,557 | 1,829 |
| 下水道事業 | 2,049,671 | 2,042,164 | 7,507 |
| 財産区 | 4,722 | 1,547 | 3,175 |
| 香住海岸土地造成事業 | 20,242 | 20,242 | 0 |
| 町立地方卸売市場事業 | 3,233 | 3,233 | 0 |
| 国民宿舎事業 | 87,554 | 87,554 | 0 |
| 矢田川憩いの村事業 | 30,616 | 30,616 | 0 |
| 宅地造成事業 | 19,982 | 19,982 | 0 |
| 総額 | 10,191,043 | 10,378,934 | △ 187,891 |

貸借対照表 【単位：千円】

| 資産の部 | | 負債・資本の部 | |
|------|-----------|---------|-------------|
| 固定資産 | 1,607,680 | 固定負債 | 107,000 |
| 流動資産 | 240,033 | 流動負債 | 657,003 |
| 繰延勘定 | 37,018 | 資本金 | 4,135,133 |
| | | 剰余金 | △ 3,014,405 |
| 合計 | 1,884,731 | 合計 | 1,884,731 |

収益的収入および支出など 【単位：千円】

| 収益的収支 | | 資本的収支 | |
|-------|-----------|-------|----------|
| 収入 | 1,215,770 | 収入 | 190,314 |
| 支出 | 1,221,448 | 支出 | 225,957 |
| 差引 | △ 5,678 | 差引 | △ 35,643 |

※資本的収支には消費税を含みます。

●病院事業
 収益的収入は12億1577万円（対前年度1億8430万円増）、収益的支出は12億2145万円（対前年度8449万円減）で、差引568万円の赤字となりました。資本的収入は1億9031万円（対前年度8179万円増）、資本的支出は2億2596万円（対前年度8167万円増）で、差引3564万円の赤字となりました。病院事業の経営状況は、医師不足から平成18年度に引き続き3階病棟を閉鎖したほか、整形外科の常勤医が不在となったことにより、同科の入院患者の受け入れができなくなるなど厳しい状況となっています。平成20年度は、3階病棟を介護老人保健施設に有効活用するなどして、経営改善に取り組むとともに、診療体制の充実を図るため、引き続き医師確保に努めていきます。

貸借対照表 【単位：千円】

| 資産の部 | | 負債・資本の部 | |
|------|-----------|---------|-----------|
| 固定資産 | 2,260,339 | 固定負債 | 981 |
| 流動資産 | 298,892 | 流動負債 | 44,882 |
| | | 資本金 | 1,369,649 |
| | | 剰余金 | 1,143,719 |
| 合計 | 2,559,231 | 合計 | 2,559,231 |

収益的収入および支出など 【単位：千円】

| 収益的収支 | | 資本的収支 | |
|-------|---------|-------|----------|
| 収入 | 217,624 | 収入 | 97,058 |
| 支出 | 224,160 | 支出 | 170,033 |
| 差引 | △ 6,536 | 差引 | △ 72,975 |

※資本的収支には消費税を含みます。

●上水道事業
 収益的収入は2億1762万円（対前年度246万円増）、収益的支出は2億2416万円（対前年度116万円増）で、差引654万円の赤字となりました。資本的収入は9706万円（対前年度5665万円減）、資本的支出は1億7003万円（対前年度5574万円減）で、差引7298万円の赤字となりました。上水道事業を取り巻く環境は、水の使用量が、7年連続で前年度の実績を下回るなど、今後も人口の減少や節水機器の普及などにより減少することが考えられます。このような状況の中、事務事業の経費削減、有収率の向上など、より一層の努力を行い、安心、安全な飲用水を安定的に供給することに努めます。

【用語解説】

・収益的収支

その年度の企業の経営活動で発生した収入と、その収入を得るためにかかった費用（支出）のこと。収入はサービス提供の対価としての料金収入が主体で、支出はサービス提供に要する人件費、光熱水費、減価償却費などです。

・資本的収支

支出は、住民に対するサービスの提供を維持したり、将来の利用増に対応し経営規模を拡大するための建設改良費などです。収入は、資産の取得などに要する資金である企業債（借入金）や国からの補助金などです。

・貸借対照表

一定期日の企業の財政状態を明らかにした財務諸表で、企業活動に必要な資産の運用形態（資産）とその源泉調達（負債・資本）を区分して表しています。



第20回香住潮風マラソン大会 心地よい潮風に吹かれ、過去最多1642人が健脚競う



▲合図とともに一斉に飛び出す1kmの選手たち



◀風光明媚な香住海岸を眺めながら走る10kmの選手たち

▶しおかぜ香苑横で選手に水を渡すボランティアの皆さん

9月27日、香住漁港西港を出発地点として、1km、3km、5km、10kmの4部門に分かれて海岸線を走る香住潮風マラソン大会。第20回記念を迎えた今回は、北は茨城県、南は佐賀県から参加いただき、当日は過去最多の1642人（エントリー1737人）が参加し健脚を競いました。なお、町内の参加者は89人でした。

【5kmの部】
男子▼29歳以下 濱田宗明（香住区香住・16分15秒）、30歳代 大石哲也（加古川市・15分30秒）、40歳代 吉田雅広（与謝郡与謝町・16分10秒）、50歳代 山本泰典（与謝郡与謝町・17分26秒）、60歳以上 塩谷益宏（たつの市・18分04秒）
女子▼35歳以下 松木千佳（吹田市・18分04秒）、36〜49歳 伊東美智恵（倉敷市・19分24秒）、50歳以上 大小田ふみ子（京都市・20分22秒）

【10kmの部】
男子▼29歳以下 再田光進（神戸市・31分05秒）、30歳代 山端良尚（小野市・32分25秒）、40歳代 寺谷文弘（神戸市・31分38秒）、50歳代 井樋迫浩（京都市・35分36秒）、60歳以上 江口讓典（神戸市・37分55秒）
女子▼35歳以下 金崎暢子（城陽市・37分36秒）、36〜49歳 小林玲子（朝来市・36分36秒）、50歳以上 山本喜代子（枚方市・40分54秒）

【3kmの部】
男子▼小学生 古磯瞳衣（西伯郡大山町・10分47秒）、中学生 古家光秀（丹波市・9分46秒）、高校 一般 松本圭司（交野市・9分22秒）
女子▼小学生 堀真柚子（小野市・11分12秒）、中学生 宇野理沙（川西市・10分50秒）、高校 一般 井上昭江（鳥取市・12分36秒）

【1kmの部】
男子▼小学3年以下 北野太翔（丹波市・3分48秒）、小学4〜6年 倉内崇晴（新温泉町・3分33秒）
女子▼小学3年以下 安達花音（姫路市・3分49秒）、小学4〜6年 勝山史織（佐用郡佐用町・3分22秒）

こんにすは町長です

「町民バス」スタート

全但バスの一部路線の運休申出から一年、町民代表の方々と関係者で協議を重ねてきました町民バスの運行が、10月1日から始まりました。

対象となる香住区全域と香住・村岡間の3路線では、ヘッドマークに町章を付けて、町民バスが走り出しました。

自動車の普及で、バスの利用は激減してきているものの、小・中学生の通学や、高齢者の皆さんの病院通いなど、香美町にとって、バスの運行は必要不可欠です。

車両の効率的な活用を図るため、ダイヤを一部変更してありますが、今後、利用状況をみながら、町民の皆さんの利便を図っていくよう、努めていきたいと思っています。

香美町長 藤原久嗣



▲10月1日、役場本庁前で町民バス運行を記念するセレモニーを行いました。

第11回村岡ダブルフルウルトラランニング 日本屈指の山岳マラソン 過去最多764人が激走

9月28日、村岡区を囲む1千m級の山々を駆け巡る高低差900mの心臓破りの山岳マラソン「村岡ダブルフルウルトラランニング」が、時折秋雨の降る肌寒い天候のなか、盛大に開催されました。

今回で11回目を迎えるこの大会に、北は茨城から南は鹿児島まで、全国各地から昨年を大きく上回る過去最多の764人（エントリー1832人）が参加、町内からも44人が挑戦しました。ランナーたちは、100km、88km、

44kmの3コースに分かれ、過酷なコースを激走。完走率は、過去最高の87%でした。

また、町内の大人から子どもまで61人が参加したウルトラウォーキング（40km）では、57人が完走しました。各部門の優勝者と町内から参加した各部門最高順位の方は、次のとおりです。（敬称略）

【100kmの部】

男子▼1位 宮城要（神戸市、8時間06分51秒）、23位 松井直樹（香住区安木、10時間19分39秒）、女子▼1位 早瀬美智子（京都府、

9時間37分31秒）

【88kmの部】

男子▼1位 岡田夏来（大阪府、7時間08分01秒）、岡昭三（村岡区大糠、10時間59分30秒）、女子▼1位 上川裕子（大阪府・8時間53分38秒）

【44kmの部】

男子▼1位 中野正道（大阪府・3時間05分09秒）、18位 天良勝政（村岡区味取、4時間07分45秒）、女子▼1位 山口みゆき（神戸市、3時間38分08秒）、9位 中村美穂（村岡区大糠、4時間40分40秒）

小代小学校プール改修工事完成

小代小学校のプール改修工事が完了し9月19日、竣工式が行われました。

小代小学校のプールは、もともと浜坂高校美方分校の生徒用のものを旧美方町が譲り受け、小学校の水泳指導に利用していましたが、遊泳槽床面に亀裂が確認され、平成13年度から使用できなくなっていました。

このたび、既存のプール内側にFRPユニットを接合する工法で、経費縮減し改修しました。また、プールサイドやフェンス、洗面、シャワーユニットなども新しくし、プール敷地内に保育所園児も利用できる浅いプールを新たに設置しました。



▲早朝5時、暗闇の中を出発する88kmと100kmの選手



▲射添の休憩所を出発するウルトラウォーキングの選手

▶大笹地内のアップダウンの厳しい街中を走り抜ける選手たち



◀選手を迎える小北保育所前休憩所の皆さん



▲完成したプール
規模：24.95 m×12.95 m、水深0.9～1.1 m
事業費：49,688 千円（工事費、設計管理費）

第4回香美町子牛品評会（前期の部） 但馬牛の原産地で切磋琢磨を！



▲【雄・雌の部 一等一席】
「ふくよしなが号」と飼い主の増田さん



▲【去勢の部 金賞一席】
「松福号」と飼い主の小林さん

新温泉町の美方郡農村総合研修センターで9月4日、優秀な但馬牛の原産地として、町内産の子牛の発育状況を審査するとともに、生産農家の交流を通じ技術の向上を図る「第4回香美町子牛品評会（前期の部）」が行われました。今回は、昨年12月から今年3月までに生まれた子牛82頭（雄・雌の部68頭、去勢の部14頭）が出場しました。主な審査結果は、次のとおりです。（賞、名号、畜主名、産地の順、敬称略）

【雄・雌の部】

一等一席「ふくよしなが号」、増田丹（小代区大谷）
同 二席「としこ号」、今井正人（小代区秋岡）
同 三席「みやひろよし号」、中村まゆみ（小代区東垣）

【去勢の部】

金賞一席「松福号」、小林操（村岡区丸味）
同 二席「佐知福号」、今井正人（小代区秋岡）
同 三席「美津福号」、井口徳一（小代区石寺）

「ふくよしなが号」の畜主の増田さんは「自信はありました。高騰するえさ代のコストを下げするため、自家製のトウモロコシも使いました。日ごろの努力が報われました。ありがたいです」と受賞の喜びを語りました。

また、「松福号」の畜主の小林さんは「大きく育ててくれて、いい体形になりました。病気にかからないよう気をつけて育てたかがありました」と受賞について語りました。

なお、第4回香美町子牛品評会（後期の部）は、同センターで10月31日に開催されます。

●問い合わせ先 役場産業部農林水産課

サルの群れによる威嚇行動や農作物被害は、もう御免！ 県内初！小代区“神場地区サル追払い隊”結成



▲エアガンの講習を受け、サル撃退に意気込む隊員の皆さん

長年、サルの群れによる威嚇行動や農作物被害に悩まされてきた小代区の神場地区で、地元住民により“神場地区サル追払い隊”が結成されました。

サルの群れは、お年寄りや女性に対して「怖い」「逃げなければ」という感覚が薄れています。特に日中、集落に残っているお年寄りや女性が農地や民家周辺に現れたサルを追い払う際などに、逆にサルが接近し威嚇してくることがあります。

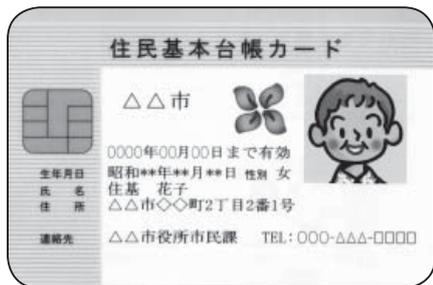
同追払い隊は、サルが接近してきたときに、エアガンで弾を放って追い払い、サルのお年寄りや女性に対する恐怖心を高め、出没を減らそうというものです。

なお、エアガンは香美町有害鳥獣対策協議会から借り受けたもので、弾は自然分解し土に変わっていく環境に優しいものを使っています。

●問い合わせ先 小代地域局農林建設課

住民基本台帳カードの交付手数料が無料になりました！

～平成20年10月1日から平成23年3月末まで期間限定～



香美町では、住民基本台帳カード（住基カード）の普及を促進する国（総務省）の支援策を受け、住基カードの交付手数料が、今年10月1日から平成23年3月末までの申請に限り、無料になりました。（通常の手数料は500円）

住基カードは、役場、各地域局の窓口で簡単に交付が受けられます。ぜひ、この機会に取得してください。

（左の住基カードは、実際のものでデザインが異なります）

「住基カード」って？

住基カードは、市町村が交付する安全性の高いICカードで、顔写真付きタイプと顔写真なしタイプの2種類があり、どちらも有効期限は10年間です。

お役に立ちます！「住基カード」

●全国どこの市区町村窓口でも、本人または本人と同一世帯の住民票の写し（本籍地などの記載は省略）が請求できます。

●転出、転入届の手続きが、転入先の市区町村窓口で一度にできます。

（ただし、事前に付記転出届の郵送が必要です）

●顔写真付き住基カードは、公的身分証明書として利用できます。

最近では、いろいろな場面で身分証明書の提示が求められます。

運転免許証などの写真付き身分証明書のない人には特に役に立ちます。

例）・印鑑登録、戸籍や住民票の写しなどの証明書の交付（戸籍法・住民基本台帳法の一部改正に伴い、今年5月1日から窓口での本人確認が必要になりました）

・郵便貯金・銀行での手続き

・携帯電話の契約 など

●住基カードに「電子証明書」を登録すると、自宅などのパソコンからインターネットを通じ、さまざまな行政機関への申請や手続きが、簡単にできます。（ただし、電子証明書の発行は、別途500円の手数料が必要です）

・国税の電子申告・納税（e-Tax：オンライン確定申告）

・パスポートの交付申請

・自動車保有関連手続きワンストップサービス

・住民票の写しの交付請求

・地方税の電子申告・納税（eLTAX）

「住基カード」の交付申請について

●申請できる人

申請できる人は、本人です。ただし、15歳未満の人および成年被後見人は、本人が申請することはできませんので、法定代理人が申請してください。また、満15歳に達した未成年の人は、本人または法定代理人のいずれでも申請できます。なお、外国籍の人は申請できませんので、ご了承ください。

●申請に必要な物

住基カードの交付申請には、次のものをご用意ください。

①運転免許証などの顔写真付き身分証明書

ただし、顔写真付きの公的身分証明書がなくても手続きできます。申請後に、ご本人を確認するための文書を送付しますので、改めてその文書と健康保険証などを持って窓口にお越しください。

②印鑑

③写真（顔写真付きカードの交付を受けられる場合）

縦4.5cm×横3.5cmで、無帽・無背景のもの。なお、写真をお持ちでない場合、ご希望により、手続きの際に町職員が写真撮影いたします。

●問い合わせ（申請）先 役場健康福祉部町民課、各地域局健康福祉課



コウノトリ但馬空港が利用しやすくなりました

町では、コウノトリ但馬空港～大阪伊丹空港間の利用者に運賃助成を行っています。
10月からは「ペア往復割引」を加え、助成対象に町出身者およびその家族を加えましたので、これを機会にぜひご利用ください。

●助成対象者

①町内に住所のある人、②町内に所在する事務所・事業所などに勤務している人（勤務先の証明が必要）、③町出身の学生、④そのほか（町出身で町内に帰省する人およびその家族の航空券を町内に住所のある人が購入するとき。10月から適用）

●コウノトリ但馬空港～大阪伊丹空港間の運賃・利用助成金額（主なもの）（片道）

| 区分 | 種別 | ①運賃（航空保険特別料金300円を含む） | ②但馬空港推進協議会助成金 | ③香美町助成金 | 本人負担額 （＝①－②－③） |
|--|----|----------------------|---------------|--------------------|---------------------------|
| 大人普通 | OW | 12,400円 | 2,500円 | 4,000円 (5,000円) | 5,900円 (4,900円) |
| 小児普通 | CH | 6,200円 | — | 3,000円 (4,000円) | 3,200円 (2,200円) |
| 先得割引 <small>(28日前までに予約、座席数制限あり)</small> | SX | 6,900円 | — | 2,500円 (5,000円) | 4,400円 (1,900円) |
| 特便割引1 <small>(1日前までに予約、座席数制限あり)</small> | FT | 7,900円 | — | 3,000円 (5,000円) | 4,900円 (2,900円) |
| シルバー割引 | WS | 9,300円 | — | 3,500円 (5,000円) | 5,800円 (4,300円) |

※（ ）内は、「団体割引」または「ペア往復割引」の場合の金額
 ・「団体割引」…事前助成により、同時に5人以上でご利用の場合
 ・「ペア往復割引」…事前助成により、同時に2人以上、往復でご利用の場合 } 合わせて120人分まで

●助成手続き

【搭乗前】

事前助成取扱店【㈱スカイウェイ（☎0796・29・0203）、J A たじま旅行センター（☎0796・24・8200）】で手続きを行うと、事前に助成金額を割り引いた額で航空券を購入できます。（運転免許証などの身分を証明するものが必要）

【搭乗後】

ご利用後に、搭乗券の半券、印鑑、振込先のわかるものをご持参いただき、役場総務部企画課または各地域局地域振興課で手続きを行ってください。（助成金は、後日振込みとなります）

●問い合わせ先

役場総務部企画課、各地域局地域振興課

保育所に通う児童の保護者の皆さんへ

ひょうご多子世帯保育料軽減制度のご案内

兵庫県では、子育て家庭の支援を通じて、子どもを生きやすい環境づくりを推進するため、保育所に通う多子世帯のお子さんの保育料の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

●助成対象世帯

18歳未満のお子さんを3人以上お持ちで、かつ、第3番目以降のお子さんが、現在、保育所に通っている世帯



●助成金額

月額6,000円を超える保育料に対し、次のとおり助成します。

- ①3歳未満児…月額4,500円を限度に助成
- ②3歳以上児…月額3,000円を限度に助成

●所得制限など

所得税額が40,000円未満の世帯が対象となります。また、保育料の月額が、3歳未満児で22,500円以下、3歳以上児で20,200円以下の世帯が対象となります。

●申請手続

役場福祉課または各地域局健康福祉課で申請書に必要事項をご記入いただき手続きを行ってください。

そのほか、必要に応じて提出していただく書類があります。

●問い合わせ（提出）先 役場健康福祉部福祉課、各地域局健康福祉課

求 人 情 報

ハローワーク香住（職業安定所）

☎0796・36・0137

（平成20年9月20日現在、順不同）

| ▽正社員 | | | | | ▽パートほか（正社員以外） | | | | |
|---------------|--------------------|----------|------|----|---------------|----------------|------------|------|----|
| 所在地・勤務地 | 事業所名 | 職種 | 年齢 | 人数 | 所在地・勤務地 | 事業所名 | 職種 | 年齢 | 人数 |
| 香住区間室 | (有)北近畿環境開発 | 電気工事士 | 不問 | 2 | 香住区香住 | (株)ヤマニ水産 | 事務員 | 不問 | 1 |
| 香住区境 | モリタ食品(株) | 水産加工 | 不問 | 2 | 香住区境 | (有)にしとも食品 | 一般事務員 | 不問 | 1 |
| 香住区上計 | (株)ヤマヨシ | 水産加工員 | 不問 | 1 | | | 食品製造加工員 | 不問 | 3 |
| 香住区境 | (株)香美町観光公社 | 接客係 | 不問 | 1 | 香住区香住 | マルヤ水産(株) | 水産加工員 | 不問 | 1 |
| 香住区香住 | (株)日本海フーズ | 調理補助 | 不問 | 1 | 香住区森 | 社会福祉法人香寿会 | 介護職員 | 不問 | 3 |
| 香住区香住 | (有)三七十 | 接客係 | 不問 | 3 | 香住区間室 | (有)北近畿環境開発 | 清掃 | 不問 | 1 |
| 村岡区村岡 | 大西石油店 | 販売 | 不問 | 1 | 香住区隼人 | マルカツ水産(株) | 水産加工 | 不問 | 3 |
| 村岡区村岡 | エイワ電器(株) | トラック運転手 | 60以下 | 1 | 香住区境 | モリタ食品(株) | 水産加工 | 不問 | 2 |
| | | 一般組立製造工 | 40以下 | 4 | 香住区上計 | (株)ヤマヨシ | 水産加工員 | 不問 | 1 |
| 村岡区村岡 | (株)入江産業 | 設計開発 | 40以下 | 1 | 香住区下浜 | (有)さだ助 | 接客・調理など | 39以下 | 2 |
| 村岡区、小代区 | 社会福祉法人 みかたこびしの里 | 看護員（看護師） | 不問 | 1 | | | 食品加工（干市） | 不問 | 2 |
| | | 介護員 | 不問 | 3 | 香住区沖浦 | 医療法人社団とい歯科医院 | 歯科衛生士 | 39以下 | 1 |
| 小代区神水 | (株)田野工務店 | 営業 | 不問 | 1 | 香住区浦上 | 旅館きおらや | 接客係 | 不問 | 4 |
| 小代区神水 | 旭東電機(株)美方工場 | 製造管理 | 不問 | 1 | 香住区香住 | (株)スタミナフードサービス | 接客・調理補助 | 35以下 | 10 |
| ▽パートほか（正社員以外） | | | | | ▽パートほか（正社員以外） | | | | |
| 所在地・勤務地 | 事業所名 | 職種 | 年齢 | 人数 | 所在地・勤務地 | 事業所名 | 職種 | 年齢 | 人数 |
| 村岡区村岡 | エイワ電器(株) | 一般組立製造工 | 40以下 | 1 | 香住区香住 | (有)三七十 | 接客係 | 不問 | 3 |
| | | | | | 村岡区大笹 | (有)やよい | スキーのレンタル業務 | 不問 | 1 |

町職員人事異動

●退職（9月30日付）

前田 定（公立香住病院事務局長）

秋山 崇（公立香住病院薬剤師）

●異動（10月1日付）

【特別職】

副町長 亀村庄二 公立香住病院事務局長事務取扱

【係長級】

健康福祉部福祉課係長相談支援担当 北村 ひろみ

（公立香住病院係長（介護老人保健施設担当））

【主査級】

会計課 北村伸子（総務部総務課）

（※カッコ内は旧職）

お誕生 こんにちは、赤ちゃん

ご逝去 慎んで、お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での
公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ
上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月（9/1～9/30）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

※このコーナーは、先月（9/1～9/30）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）



●役場各課など主な施設の連絡先

役場本庁舎 36・1111(代表)

総務課 36・1111 企画課 36・1962 税務課 36・1113 会計課 36・4321

町民課 36・1110 健康課 36・1114 福祉課 36・1964 農林水産課 36・0846

観光商工課 36・3355 建設課 36・1961 上下水道課 36・0420 議会事務局 36・1963

村岡地域局 94・0321(代表) 小代地域局 97・3111(代表)

教育委員会 94・0101 香住分室 36・3764 小代分室 97・3966

公立香住病院 36・1166 公立村岡病院 94・0111 香住地域福祉センター 36・4345

香住老人福祉センター 36・5008 村岡老人福祉センター 98・1000

小代高齢者生活支援センター 97・2202

（全ての施設の市外局番：0796）

まちの出来事

香美町赤十字奉仕団災害救護実践訓練 突然の災害に備え、訓練に励む (香住区)

(香住区)

9月7日、香美町赤十字奉仕団が主体となり、最近各地で起こっている地震や豪雨などの災害に備え、災害救護実践訓練が行われました。

この日は約500人で構成される香美町赤十字奉仕団から57人（香住区42人、小代区15人）が参加し、日本赤十字社兵庫県支部の指導員から止血方法や三角巾の巻き方など負傷者に対する救急法を学び、救護活動の知識を深めました。

また、炊き出し訓練として、水やお湯を入れるだけで食べられるアルファ米と、豚汁を1000人分作り、参加者に振る舞いました。

香美町赤十字奉仕団委員長の水間徳子さん（小代区鍛冶屋）は「皆さん熱心に取り組んでいただき、今後の奉仕団の活動にも期待が持てました。女性のパワーを改めて実感しました」と語っていました。

▼教わった止血方法を早速実践する参加者



▼ハギの花を楽しむ家族連れ



秋の七草の一つ、ハギの花が見ごろを迎えた小代区広井の古代体験の森で9月15日、恒例の「萩まつり」が開催され、もんぺ姿のボランティアなどの皆さんが、古代食として、町内で収穫された古代米（赤米と黒米）でおにぎりを作り、訪れた人々に振る舞っていました。

会場では、家族連れなどが、勾玉作りや火起こしなど古代の人々の暮らしを体験したり、古代米のおにぎりを珍しそうに食べたり、薄紫色や白色の愛らしいハギを眺めながら散策したりして、思い思いにくつろいでいました。

約50株ある会場のハギは、平成元年に地元有志の皆さんが植えたもので、枝分かれして大きく育ち、毎年見事な花を咲かせています。

今回初めてボランティアとして炊き出しなどを手伝った井上京子さん（小代区広井）は、「古代米がとてもおいしかったです。ここに咲いている萩はとてもきれいで見応えがありますよ」と語っていました。

古代体験の森「萩まつり」 愛らしい萩を眺めて、古を思う (小代区)

(小代区)

9月15日、「日本の棚田百選」に選ばれている小代区貫田のうへ山の棚田について学ぶ『公民館連携ふるさと語り部講座』が行われ、町内外から50人が参加しました。

まず、小代区地域連携センターで、兵庫県立大学院生の永菅裕一さんによる棚田の魅力や保全についての講義を受けました。その後、うへ山へ移動し、ふるさと教育応援団の田村哲夫さん（小代区貫田）の説明を聞きながら見学しました。また、貫田ハートクラブの皆さんにつくっていた棚田米のおにぎりを試食したり、目の前でできあがったポン菓子をお土産として持ち帰りました。

この日、授業の一環として参加した18人の兵庫県立大学の学生の一人は「小代区貫田の棚田を訪れ、実際に農家の方々の話を聞いて、米作りに対する自信と心意気を感じました」と感想を述べていました。

少し肌寒い一日でしたが、大学生と町民がいっしょに棚田について学ぶ有意義な講座となりました。

ふるさと語り部講座「棚田を訪ねる」 魅力いっぱい棚田を学ぶ (小代区)

(小代区)



▲棚田を見学する参加者

▼棚田米でポン菓子づくり



今回初めてボランティアとして炊き出しなどを手伝った井上京子さん（小代区広井）は、「古代米がとてもおいしかったです。ここに咲いている萩はとてもきれいで見応えがありますよ」と語っていました。

旬の野菜収穫祭 枝豆用大豆新品種発売記念イベント 新品種の枝豆、特産化を目指し！

(村岡区)

9月20日、村岡区大糠の道の駅「村岡ファームガーデン」で、今年初めて収穫した新品種の枝豆のおいしさを広くPRし、販売促進と栽培の普及を目的に発売記念イベントが開催されました。



▲即売では、あっという間に売り切れました。

会場では、枝豆の即売や枝豆入りのおにぎりの試食のほか、2人1組で制限時間内にゆでた枝豆を枟に入れる「枝豆つかみマス競争」も行われました。この競争には、町内外から10組20人が参加。はしでつかもつとして、つるつと滑る枝豆に悪戦苦闘する出場者に、観客から笑い声や声援が飛び交っていました。

この枝豆は、「黒っこ姫」と「茶っこ姫」で、県北部農業技術センターが「丹波黒」と「タタ茶豆」を交配し開発したもので、丹波黒と同等の食味を持ち、2週間程度早く出荷することができると特徴。

生産者の一人、阿瀬ぬいさん(村岡区川上)は「来年は栽培面積を増やし、地域の特産品となるようがんばりたい」と語っていました。

▼さやから豆を出す人、はしでつかんで枟へ入れる人



ふるさと語り部講座「ナシジャム作り」 特産二十世紀ナシがジャムに変身

(香住区)

香住区矢田の兵庫県立香住高校実習棟で9月21日、ふるさと語り部講座が開催され、町内の子どもから大人まで約40人がナシジャム作りにチャレンジしました。

兵庫県下最大の生産量を誇る香住の特産二十世紀ナシ。語り部として同校の森垣一芳さんと田中雅也さんに、甘く実ったナシを使ったジャム作りを教わりました。



▲まずはナシ選びから…

参加者は、皮と芯を取り除いたナシをミキサーで細かく砕き液状にし、鍋で煮込みながら砂糖などを加え調理しました。次第に実習室には、甘い香りが立ち込めて、子どもたちも大はしゃぎ。1時間ほどでジャムが完成。参加者は少し冷まして小瓶に入れ持ち帰りました。

参加者からは「ジャムがこんなに簡単に作れるとは思いませんでした。食の安全が心配されるなか、やっぱり手作りは安心です」、「たいへん勉強になりました。レシピもいただいたので、家でもぜひ作ってみます」、「味見をしてみたら、とてもおいしかった」など感激の声を耳にしました。

▼おいしくできたかな？



美方郡消防協会 防災訓練 大規模林野火災を想定

(村岡区)

村岡区の八千北高原スキー場周辺で9月23日、町合併後初めてとなる美方郡消防協会による林野火災を想定した消防訓練が行われ、美方広域消防本部と香美町、新温泉町の約200人、消防車両27台が参加しました。

水源の少ない山間地域で、たばこが原因の林野火災が発生、強風にあおられ燃え広がっているという想定の中、



▲水を背負い放水するジェットシューター隊

3箇所の水源からのホース展開による放水と、背負った水で消火活動にあたるジェットシューター隊による訓練を行いました。

最も遠い水源は、火点から約2.7km離れていました。この訓練で使われたホースは約260本。長く起伏のある地形でのホースの展開に各回奮闘し、放水を行いました。各団が林野火災の過酷さを痛感し、得るものが多い訓練となりました。

▼火点への放水開始



ふるさとの魅力を訪ねて

兎塚地区

兎塚地区は、福岡、八井谷、大野、口大谷、中大谷、大笹、高坂、池ヶ平、和池、森脇、黒田、宿、日影、作山からなります。

香美町の最南端に位置し、南の玄関口となるこの地区は、鉢伏山の北側に広がる八子北高原や、氷ノ山後山那岐山国定公園に指定され兵庫県観光百選の第1位にも選ばれている瀬川平などすばらしい自然があります。

八子北高原は、ザゼンソウの群生地（県指定天然記念物）があるほか、ミズバショウ、エンレイソウといった貴重な花々にあふれています。ハイキング、キャンプ、パラグライダーなどアウトドアスポーツを楽しむことができます。特に冬のスキーは、関西随一の雪質を誇る八子北高原スキー場やスカイバレイスキー場に、毎年多くのスキー客が訪れています。また、県指定天然記念物の和池の大カツラや兎和野の大カツラ、レンゲツツジをはじめ、高原植物の豊富な瀬川平一帯は、平成6年5月に「第45回全国植樹祭」の会場にもなり、但馬高原植物園や木の殿堂、兎和野高原野外教育センターが整備され、山の自然を満喫できます。



上下2段で総落差60mの猿尾滝（日影区）は、「日本の滝100選」、「県指定名勝」に選定されています。江戸時代に村岡藩主の山名公がこの滝で「そうめん流し」を楽しんだという言い伝えにちなみ、毎年7月の第2日曜日に「猿尾滝祭り」を開催。恒例となった「そうめん流し」は、毎年多くの人出で賑わっています。

5～6世紀に築かれた県指定史跡の八幡山古墳群（福岡区）は、「三角持送り式天井」という特殊な構築方法で注目されています。「兎塚学びの里」として、平成6年に世界7カ国の彫刻家10人らによって文化創造の場として整備された「八幡山公園」では、毎年8月下旬に「八幡山芸術祭」が盛大に開催されています。



◆地区の世帯数と人口

(H20.9.1現在 町民課調べ)

| 区名 | 世帯数 | 人口 | | |
|-----|-----|-----|-------|-------|
| | | 男 | 女 | 計 |
| 福岡 | 135 | 192 | 194 | 386 |
| 八井谷 | 25 | 47 | 45 | 92 |
| 大野 | 26 | 31 | 43 | 74 |
| 口大谷 | 50 | 82 | 71 | 153 |
| 中大谷 | 34 | 60 | 56 | 116 |
| 大笹 | 55 | 114 | 98 | 212 |
| 高坂 | 21 | 27 | 33 | 60 |
| 池ヶ平 | 10 | 21 | 15 | 36 |
| 和池 | 40 | 58 | 77 | 135 |
| 森脇 | 14 | 21 | 24 | 45 |
| 黒田 | 47 | 82 | 75 | 157 |
| 宿 | 56 | 94 | 114 | 208 |
| 日影 | 77 | 110 | 135 | 245 |
| 作山 | 12 | 13 | 20 | 33 |
| 合計 | 602 | 952 | 1,000 | 1,952 |

第4回香美町子牛品評会（前期の部）で、去勢の部の金賞一席に輝いた「松福号」。村岡区丸味にある飼い主の小林操さんの牛舎を訪ねました。丸味の集落から少し離れたところで、牛舎や放牧場が点在し、時折、牛の鳴き声が聞こえてくるのどかなところでした。

ちょうど牛市の前日で、小林さんは市に出す牛を丁寧に洗ったり、毛並みを整えたりと手入れに精を出していました。松福号の撮影をしながら、小林さんから飼料の値上がりしたことや、冬の市の日には夜通し道路の雪かきで大変なことなど、いろいろと牛飼いの苦労話や思い出話を聞きました。

翌日の市で、牛に少しでもいい値がつくよう、また、これまで大切に育ててきた愛情や別れの寂しさなど、小林さんの姿にいろいろな「思い」を感じました。（今西）

編集後記



まちのうごき

(平成20年9月1日現在)

合計 21,728人 (-10)
 男 10,326人 (-5)
 女 11,402人 (-5)
 世帯数 6,947世帯 (+4)

カッコ内は前月比